

【個別事業の概要】

水辺プラザ

いしかり いざり えにわ
石狩川水系 漁川（北海道恵庭市）

河川利用を向上させるための水辺拠点として、水辺に親しむための階段工、散策路等を整備することにより、恵庭市の第3期総合計画である「新水と緑のやすらぎプラン」等の計画と連携し、まちを元気にする交流の場として川、道を活かした地域連携・地域交流・地域振興を目的としたにぎわいのある河川空間を創出します。

もがみ もがみ しんじょう
最上川水系最上川（山形県新庄市）

当該箇所は最上川と八向楯が織りなす自然景観の素晴らしい所であり、当該地区に関する句や歌も残っており様々な歴史・文化的背景を持つ地であります。

中流部において礫河原のある当地区は貴重な空間であるとともに、歴史・文化・環境・地理的要件などにも恵まれ、さらに、カヌーや環境芸術祭等多様な活動の場ともなっています。また国道47号に隣接しており、利便性も良い場所となっていることから最上川中流において水辺を活かし、積極的に活用が図られるよう整備を行っていくものです。

とね とね ちよだ めぬま
利根川水系利根川（群馬県千代田町、埼玉県妻沼町）

「千代田町第四次総合計画」および「妻沼町第四次総合振興計画」において、堤防上の自転車・歩行者道休憩所の供用が開始されており、多くの利用者から広域的な連携、未整備拠点の早期整備が求められています。利根川が育む豊かな自然と歴史文化を活かし、地域の活性化、地域特性や環境の保全、レクリエーション空間の確保、ユニバーサルデザインの充実等、様々なニーズに対応した活動や交流の拠点として、水辺拠点の整備を行います。

ふじ ふじ かじかざわ
富士川水系富士川（山梨県鯉沢町）

当該箇所は富士川中流部の中でも水辺に近づくことができる数少ない箇所あり、現在、カヌーの発進基地として利用されています。鯉沢町の地域活性化を図るため、富士川の舟運を学びながら水辺とふれあえる場としての河川環境整備を行います。

やはぎ やはぎ おかざき
矢作川水系矢作川（愛知県岡崎市）

岡崎市では河川を、都市を形成する一つの軸として位置付け、水辺の持つ機能を都市づくりに活かすことを計画しており、地域整備構想に基づき現在までに「水辺の楽校」を整備しています。自然環境と共生するシンボリックな空間を形成することや、矢作川沿いの緑地とを一連で結び、堤内地側に存在する公園（大門公園・堤下公園）を活用しつつ、自然とのふれあいを目的とした河川空間の拠点として水辺整備を行います。

木曾川水系木曾川（愛知県江南市）

当該箇所は、「お囲い堤」や「猿尾堤」といった歴史的構造物が今もなお残っており、木曾川の改修史のうえでも重要なポイントとなっています。一方で、江南市では「地域再生計画」が認定され、「花」をキーワードにした整備が計画されています。このような状況に鑑み、木曾三川公園と一体となった活動や交流拠点としての水辺の整備を行います。

千代川水系千代川（鳥取県鳥取市）

都市交流エリア、スポーツ・文化創造エリアとして中国横断自動車道姫路鳥取線の河原インターチェンジや、情報発信施設の整備が予定されている鳥取市河原町において、河川に親しむための親水護岸、進入路、遊歩道や交流のための施設などを「道の駅」と連携して整備することにより、水・人との楽しい出会い、憩いが得られる場を提供し、河川環境の向上と併せて、地域の交流促進、活性化、魅力向上を図ります。

水辺の楽校プロジェクト

岩木川水系岩木川（青森県岩木町）

岩木町を主体とした“茜の夕陽 水辺楽校協議会”を発足（H16年3月）させ、川をフィールドとした自然体験活動の推進に力を入れているところであり、現在まで、小学生を対象とした河川清掃、稚魚放流や協議会を開催するなど地域一丸となって精力的な活動を展開しています。この地域の取り組みについて今後の利活用の促進を図るために現地へのアクセス性向上など、水辺の楽校として整備を行います。

北上川水系北上川（岩手県江刺市）

当該箇所は、江刺市の西側を貫流する北上川左岸の桜木橋付近に位置し、市の中心市街地に近いだけでなく、隣の水沢市からのアクセスも良好な箇所であり、また近隣の愛宕（おだき）小学校の児童により、水質調査や稚蟹の放流が行われるなど、学校の課外学習の場として利用されています。良好な河川環境を持ち合わせていることから、豊かな自然と水辺に親しみ、環境学習がしやすいよう整備を行います。

雄物川水系雄物川（秋田県湯沢市）

当該箇所周辺は、湯沢市民の運動場として整備された松の木河川公園付近に位置しており、各種スポーツ大会、アユのつかみどり大会やカヌー教室が行われるなど、積極的な河川利用が図られている。しかしながら、河川利用だけではなく自然観察や総合学習など、住民が自然環境に親しみ水にふれあう場所が望まれる中、良好な自然環境及び河川空間を活かし水辺に親しめる水辺空間の整備を行います。

雄物川水系玉川（秋田県大仙市）

当該箇所周辺は、グランドゴルフや野球等、各種スポーツ大会、またコイ・サクラマス・アユ釣りに良好な漁場など、積極的な河川利用が図られています。

しかしながら、河川利用だけではなく自然観察や総合学習など、住民が自然環境に親しみ水にふれあう場所が望まれていることから、良好な自然環境及び河川空間を活かすためアクセス性及び親水性が向上する施設整備を行います。

利根川水系桐生川（群馬県桐生市）

当該地区は、桐生川に隣接する東中学校より環境学習の場として整備要望があることも踏まえて、既存の恵まれた自然を活かした地域を有効活用し、環境学習の場となる空間を提供するとともに、散策路を設け、周辺住民の憩いの場として整備を行います。

引地川水系引地川（神奈川県大和市）

引地川は、水辺をめぐる市民活動が盛んであります。引地川の水辺に、自然と遊ぶ機会の少ない子どもたちのために、教育委員会、学校、市民団体と連携し、安全で楽しい水辺空間を創造します。

木曽川水系犀川（岐阜県瑞穂市、墨俣町）

犀川流域における内水被害を防止するため、犀川遊水地事業を実施しているが、一方で、古くから「輪中」が形成され水との関わりが深く、豊かな自然環境が今もなお残されていることから、ゆとりある河川空間の整備が求められています。また、毎年開催される「桜まつり」や「墨俣一夜城」など地域プロジェクトと一体となった河川利用、小学校等の環境学習の場として、「水辺の楽校」を整備するものです。

九頭竜川水系狐川（福井県福井市）

狐川は、住民主導による環境保全に向けたワークショップを開催するなど、地域住民の狐川における環境への意識が高まってきていることから、行政と住民との協力により、狐川における動植物の生育・生息環境を復元するとともに、水辺の楽校プロジェクト制度を活用し、子供たちが水辺に近づきやすく・水とふれあえる、自然体験の場・環境学習の場としての整備を行います。

日野川水系日野川（鳥取県伯耆町）

当該箇所は背後に霊峰大山を望む風光明媚な箇所であり、小中学校などが近接する伯耆町の中心地に位置する岸本箇所において、子供達の環境学習や自然観察、イベント活動などが行いやすいように親水性、安全性の向上を図ります。

太田川水系三篠川（広島県広島市）

狩小川小学校裏の三篠川の水辺空間において、河川環境を活用した総合学習活動や自然体験を通じた学びと遊びの空間として河川の活用を促進し、魅力あるかわづくりを目指すと同時に、地域活動を支える憩いの空間としての利活用を促進するために、河川管理者、広島市、狩小川小学校、PTA、地元自治会などが連携し、地域活動の核となるような河川環境の実現を図ります。

よしの よしの みま 吉野川水系吉野川（徳島県美馬市）

当該箇所周辺には、堤内に隣接してオートキャンプ場が開園し、その前面の高水敷も整備され、キャンプ場、高水敷の利用者は年間3万人を超えており、利用が頻繁に行われています。また、本箇所の利用計画については、旧美馬町が市民団体と協力して、「美馬町中島地区土地利用構想」を策定するなど、積極的な活動があることから、地域活動の核となるような河川整備を行います。

せんだい はっけん さつませんだい 川内川水系八間川（鹿児島県薩摩川内市）

八間川周辺地区は、公民会を中心に八間川の清掃活動に取り組むとともに、「遺跡めぐり」「鬼火焚き」「凧揚げ大会」など地域交流会が盛んな地区です。また、八間川近隣に位置する高江保育園では八間川の野外保育の場として、峰山小学校では水生生物調査等の総合学習の場として利用されており、今後も体験学習の場として大いに期待されています。しかし現状では水辺に近づきにくいことから、散策路の設置など、子どもたちが身近に水辺に近づくことができ、また地域の人々に親しまれるような河川整備を行います。

水と緑のネットワーク

ひじ おおす 肱川水系（愛媛県大洲市）

大洲市街地付近は、城下町として古くから栄えていた地域であり、大洲城址や臥龍山荘など多くの史跡が残り、「小京都」「水郷」と呼ばれる情緒豊かな風景を持っている地域です。また、芋炊きや鶉飼、寒中水泳、花火大会、菜の花や双玉畑といった川に関する行事も盛んです。

古くから人と川の結びつきを感じさせる地域であり、大洲城内濠跡水路の復活（浄化及び修景整備）など水郷にふさわしい環境整備を行うものです。

ふるさとの川整備事業

あぶくま ろっかく にほんまつ 阿武隈川水系六角川（福島県二本松市）

六角川は二本松市の中心部を流れ古くから人々の生活に密接に関わってきました。また、中心市街地である二本松駅周辺は、安達太良山や観音丘陵を背後に、六角川がそばに流れるなど自然に身近に接することのできる環境となっています。

このため、六角川の改修に際して、歴史的背景、周辺環境をふまえ、駅前広場整備等のまちづくりと一体となった親水空間整備及び歩行者回遊空間の創出を行うため、今回指定するものです。

桜つつみモデル事業

もがみ もがみ あまるめ 最上川水系最上川（山形県余目町）

最上川の下流部では、酒田市～平田町～余目町～松山町～立川町の連続した「最上川さくら回廊」の実現を目指し、桜等の植樹により、良好な水辺空間及び自然景観の形成を図っています。

今回、最上川左岸の余目町について、3.2kmを追加申請を行い全体で8.7km間について認定するものです。

くずりゅう くずりゅう ふくい 九頭竜川水系九頭竜川（福井県福井市）

福井市森田北東部地区は福井市のベットタウンの住宅地として開発する区画整理事業を実施中です。この事業において九頭竜川右岸堤防に平行に歩行者専用道路を結び緑のネットワークづくりを計画しています。

ここに桜づつみモデル事業を実施することにより、新しいまちのシンボルとして、川や水、緑と一体となった潤いのある河川空間の整備とまちづくりを目指しています。

河川防災ステーション

いしかり とよひら さっぽろ 石狩川水系豊平川（北海道札幌市）

札幌市中心部の近郊に位置する当箇所は、国道を始めとする幹線道路に恵まれており、災害時には水防活動や緊急復旧活動に係わる輸送路を確保することが容易な場所であるため、豊平川での迅速かつ円滑な復旧活動の拠点として整備します。また、平常時は札幌市が当箇所周辺で進めている周辺土地利用と連携し多様な地域交流の場として有効に活用されることが出来ます。

とね とね のだ 利根川水系利根川（千葉県野田市）

船形地区河川防災ステーションは、洪水被害を最小限に食い止めるため、利根川中流部の江戸川分派点より下流における災害時の緊急復旧活動を行うよう迅速かつ円滑な復旧活動の拠点として整備します。また、平常時には、周辺地域の高揚、防災学習の拠点として利用するとともに、地域の交流・憩いの場としての活用が可能となります。

地域に開かれたダム

おおきた おおきた たかはぎ 大北川水系大北川（茨城県高萩市）

小山ダムは、茨城県北部を流れる大北川の上流に位置し、ダム周辺は花園花貫県立自然公園に指定されています。ダムの下流には自然公園の特別地区に指定されている大北溪谷があり、四季折々に豊かな箇所があります。この地域における豊かな自然環境を活かし、自然体験やレクリエーションの場として、ダム湖を中心とした地域の創意工夫と関係機関の支援により活性化を図っていきます。